

ユードーン

## U-dawn News



U-dawn (ユードーン)

香川大学の学生を中心とした国際協力NGOです。

カンボジアの笑顔を守り、可能性を広げる活動を目指しています。

## 春渡航のメンバーがカンボジアへ出発します。

U-dawnでは毎年カンボジアへの渡航を行っています。今年の春渡航には4名のメンバーが参加し、「現地・現物・現地人。五感で確かめる『U-dawnの現在地』と、持ち帰る『未来図』～確かなニーズ・人脈・課題を求めて～」というスローガンのもと、約10日間現地で活動します。

今回は、タイとの国境付近の緊張状況を踏まえ、世界遺産であるアンコール・ワットのあるシェムリアップ周辺への訪問は見送る判断をしました。しかし、私たちが継続的に支援しているドムナックプリン小学校の訪問を中心に、現地のニーズ調査、歴史学習や観光などを予定しています。渡航後は渡航で得た学びや気づきを今後の活動に生かし、より価値ある支援をつくっていきけるよう取り組んでいきたいと考えています。

## SNSでメンバーの自己紹介を投稿中

現在、U-dawnのSNSにてメンバーの自己紹介シリーズを投稿しています。学部や出身地、これまでの経験がまったく異なる、多様で個性豊かなメンバーが集まっていることが私たちの強みです。投稿では、メンバーの写真とともに、プロフィールを紹介しています。普段の活動だけでは見えにくいメンバーの素顔や価値観を知ること、より身近に活動をイメージしていただけるはずですよ。

U-dawnの雰囲気を感じられるシリーズになっていますので、興味のある方はぜひSNSをチェックしてみてください。今後の更新もどうぞ楽しみに。



## 2カ国の外国武官が国境地帯を視察

カンボジア国防省は3月4日、タイとの係争が続くバンテアイ・ミアンチェイ州プレイチャン村に、12カ国の駐在武官を招請し、現地視察を実施したと発表しました。視察は、2025年12月に合意した停戦の履行状況を確認し、平和的解決へのカンボジアの姿勢を示すことを目的としています。代表団は、当局者の案内で襲撃が発生した地点や、タイ軍が設置したとされる施設を確認しました。国防省のマリー・ソチェアタ報道官は、カンボジアが国境委員会の共同声明や昨年10月の和平宣言など、両国間の合意を順守し続けていると説明しました。

政府報道官のペン・ボナ氏は、国境問題は国際法と既存条約に基づき、国境委員会の枠組みを通じて外交的に解決すべきだと強調しています。武力による一方的な国境変更は認められないと述べ、地域の平和と安定の回復に向けた取り組みを続ける姿勢を示しました。

参考文献 <https://www.kampuchearthmey.com/kpt-english/1078924> <https://starofcambodia.com/>

## Q-dawn

U-dawn newsクイズ



カンボジアの伝統衣装の名前は次のうちどれでしょう

- ① サンポット
- ② アオザイ
- ③ ロンジ

〈ヒント〉

- ①～③はカンボジア、ベトナム、ミャンマーのいずれかの国の伝統衣装です

答えはSNSに掲示しています。

## 団体概要

香川国際協力NGO U-dawn

(ユードーン)は、香川大学の学生を中心に結成されたカンボジアを支援するNGOです。

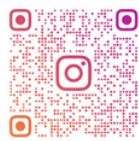
カンボジアの笑顔を守り、可能性を広げる活動を目指しています。



SNS、ホームページを随時更新していますので、ぜひチェックしてください！



ホームページ



U-DAWN SINCE 2021



X (Twitter)



←U-dawnの活動支援はこちらから

